



慢性腎臓病に注意が必要な薬

病院で処方されるお薬や市販されている薬には腎臓に負担をかけてしまうものがあり、使用してはいけないものや量を減らす必要があるものがあります。注意が必要な薬をいくつか紹介します。

造影剤

CT検査やカテーテル検査（治療）の時に使用するお薬

胃薬

H2遮断薬という分類のお薬やアルミニウムが含まれるお薬

例) ファモチジン(ガスター®)、ラニチジン(ザンタック®)、ラフチジン(プロテカジン®)

解熱鎮痛薬・消炎鎮痛薬

薬局やドラッグストアで購入できる風邪薬や痛み止めの中にも含まれるお薬

例) ロキソプロフェン(ロキソニン®)、ジクロフェナク(ボルタレン®) イブプロフェン(イブ®)、アスピリン(バファリン®) など

抗ウイルス薬

帯状疱疹、インフルエンザのお薬

例) アシクロビル(ゾビラックス®)、バラシクロビル(バルトレックス®)、オセルタミビル(タミフル®) など

一部の漢方薬

これらのほかにも注意が必要な薬は多くあります。

病院で処方された薬だけでなく、市販薬や健康食品、サプリメントについても使用する際は医師または薬剤師に相談しましょう。